



マリアさま! こんにちは。



主任司祭 盛 克志



たくさんの花が咲き自然界の美しい季節5月を、カトリック教会は「聖母月」と定め、神の母、人類の母なる聖母マリアをたたえ賛美しています。

聖母マリアをたたえるにはふさわしい時期と言えるでしょう。

マリアは、神の特別な恵みをうけ、イエスを身ごもることになったり、イエスの受難を見守ることになるなど、女性として、また母として特別な苦しみをも経験しました。

しかし、神のはからいを従順に受け入れ、謙虚に祈りました。人々はそのようなマリアの姿にならおうとしてきました。

マリアは謙虚な信仰を持っていました。

マリアが住んでいたナザレという村は、イスラエルの中心地ではなく、ガリラヤに属する小さな田舎の町でした。また、マリアという名前も当時のユダヤ人の間では非常に一般的な名前でした。神はこのように平凡な処女マリアを選び、救い主の母とされました。

マリアは、自分が特別な資格や能力を持って選ばれたわけではないことをよく理解していました。

そして、マリアは従順な信仰を持っていました。

私たちがマリアを崇敬する真の理由は、マリアの従順な心が神の意志に従ったイエス様の姿に似ているからです。

また、マリアは苦しみを受け入れる信仰を持っています。

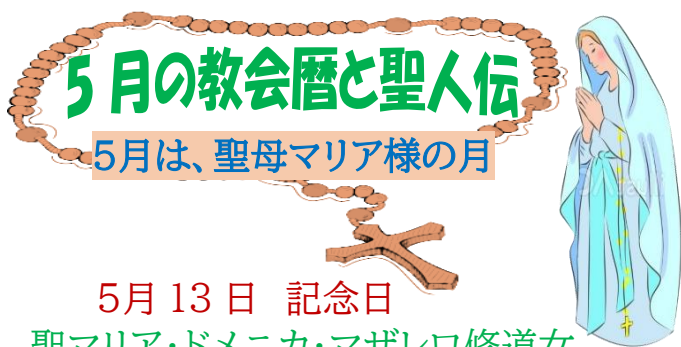
実際、聖母マリアは生涯を通じて神への信仰のために困難や苦痛を経験されました。処女としてイエスを産み、ヘロデ王から逃れて、遠いエジプトに避難しなければならなかったこと、十字架を背負った息子の姿を見守らなければならなかったこと、そして最後には十字架刑にされる光景を見つめなければならぬ運命を持っていた方です。

このように私たちに先立って、信仰の旅を歩み、栄光に入った神の母であるマリアは、今、この瞬間も私たちと共にいて、私たちが永遠の命に入ることができるよう助けてくださいます。

「神の母聖マリア、わたしたち罪びとのために、

今も、死を迎える時も、お祈りください。アーメン」





5月の教会暦と聖人伝

5月は、聖母マリア様の月

5月13日 記念日

聖マリア・ドメニカ・マザレロ修道女

1837年～1881年

北イタリアのモルゼーネの村に生まれたドメニカは、両親の熱心な信仰と村の教会の教育により、信心深い少女に成長した。17歳のとき「無原罪の聖マリア処女会」という信心会に入り、友人たちとともに裁縫教室を開いて、少女たちに教えたり、養育院を設けて子どもたちの世話をした。彼女の教会の主任司祭の友人であったドン・ボスコは、彼女の事業に注目し、励ましたりアドバイスを与えたりした。またボスコは、「無原罪の聖マリア処女会」を修道会にまで昇格させるよう働きかけ、ドメニカの事業を世界的に発展させる道を開いた。そして創立者をドン・ボスコ、初代総長をドメニカとする新しい修道会「サレジアン・シスターズ(扶助者聖母会)」が創立された。彼女の死後も、修道会は目覚ましい発展をとげ、青少年の教育に献身している。日本には1929年に渡来し、東京、清水、川崎、大阪、大分、別府、湯布院、中津、長崎、大村などで、星美学園、養護施設など教育事業にあたっている。(聖パウロ女子修道会より)



5月24日 祭日

聖霊降臨

聖霊降臨祭を祝う今日の主日は、新約聖書において「五旬祭(ペンテコステ)」と呼ばれています。

キリストの復活を祝う「大いなる50日」に復活節のしめくくりとして、聖霊降臨祭を祝います。喜びのうちに主の昇天を見守った弟子たちでしたが、主の復活の証人として派遣されるには、聖霊を受けるまで

の時が必要でした。弟子たちは、聖霊の息吹により神のはかりしれないご計画を悟り、それはやがて確信となりました。この確信こそが教会誕生の源、福音宣教の原動力となったのです。教会は、この聖霊降臨祭の出来事を毎年記念することにより、私たちが聖霊をいただいていることを意識し、教会のいのちとその一致の源に立ち返ります。真の刷新の時でもあるのです。今日私たちは聖霊の働きによって、霊の実が見える教会共同体として成長しているかどうかを見、そうであるべく新に求められている日でもあるのです。聖霊降臨の主日を祝った教会は、過ぎ越しを中心とする二つの季節、四旬節と復活節が終わり、明日の月曜日から年間に入ります。(聖パウロ女子修道会)



5月31日 祭日 三位一体

三位一体の祝日は、ラテン教会において1030年に、聖霊の降臨の次の主日に祝われた記録が残っていますが、1334年教皇ヨハネ22世により全世界の祝日として制定されました。



主の過越を中心とする四旬節、復活節という季節も終了し、すでに年間の季節に入っています。その最初の主日が三位一体の主日です。あらゆる祝日、主日は三位一体の神の記念とほいうものの、救いの歴史が神の御ひとり子イエスの復活と約束された聖霊の派遣により完成されたこの時に、今日の祝日を特別に祝うことは、実にふさわしいことと言えるでしょう。

私たちは、「父・子・聖霊」の名によって
洗礼を受けました。(聖パウロ女子修道会)

5月は聖母月

感謝の気持ちを
持ちながら！

ステファノ神父



大切な人たちが特に多く思い浮かべる5月の聖母月を迎えました。

韓国では、5月5日のこの日をはじめ、5月8日の母と父の日があり(日本では母の日と父の日が別々にあります)、また教師(先生)の日も5月にあります。

最近、偶然に「ナンバーワン」という韓国映画を知ることになりましたが、家族はもちろん、周辺の知人たちとの関係をより大切に考えさせられる内容でした。

原作は『あなたが母親の手料理を食べべられる回数は残り328回です』という小説で、日本人作家の著書だそうです。

家族という理由で、あまりにもよく知っているという理由で、むしろ無関心になっていっているのではないかと思ひながら、周りの人々との関係の大切さを悟り、常に感謝の気持ちをもちながら生きていく日々になりましょう。

Memory

4/5(日)復活祭のお祝いの茶話会にて



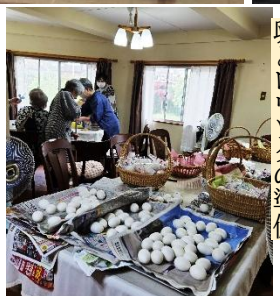
4月5日(日)
甲突川の桜の笑顔の美女たち??



4/5(日)復活祭の催し



4月3日(金)十字架礼拝



4月4日(土)復活祭の卵とロウソクの準備



お花のご奉仕 感謝!



タペストリーの取り換え

4月4日復活の徹夜祭



3月29日(日)枝の主日

枝切終わって
ほっと一息!
お疲れ様でした。



3月28日(土)ソテツの枝切り

令和8年(2026年) 谷山教会 5月の予定と祝日表(5月1日～5月31日)

日時		典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番班	班会	
1日	金	6:30 初金ミサ/労働者聖ヨセフ				
2日	土	19:00 復活節第5主日のミサ/聖アタナシオ司教教会博士 記念日		1	教会	
3日	日	6:30&9:00 復活節第5主日/ミサ後役員会 憲法記念日	1			
4日	月	朝ミサなし 会修議の会のため	みどりの日			
5日	火	朝ミサなし/埼玉教区司教座教会献堂 記念日	こどもの日			
6日	水	召命ミサなし	振替休日			
7日	木	6:30 朝ミサ				
8日	金	6:30 朝ミサ				
9日	土	19:00 復活節第6主日のミサ	信徒総会の設営2,3班	2・3	教会	
10日	日	6:30&9:00 復活節第6主日/9:00ミサ後信徒総会/世界広報の日	2・3			
11日	月	6:30 朝ミサ	*今月の行事当番班は5・11班です。			
12日	火	6:30 朝ミサ				
13日	水	19:00 召命ミサ/ファチマの聖母マリア				
14日	木	祝日 6:30 朝ミサ 聖マチア使徒				
15日	金	6:30 朝ミサ				
16日	土	19:00 主の昇天のミサ			4	教会
17日	日	6:30&9:00 主の昇天主日(祭)/ミサ後司牧評議会/		アチエス 13:30～	4	
18日	月	6:30 朝ミサ/聖ヨハネ一世教皇殉教者				
19日	火	6:30 朝ミサ				
20日	水	19:00 召命ミサ/聖ベルナディノ・シェナの司祭				
21日	木	6:30 朝ミサ				
22日	金	6:30 朝ミサ				
23日	土	19:00 聖霊降臨の主日(祭)ミサ	聖霊降臨の設営5, 11班	5・11	教会	
24日	日	6:30&9:00 聖霊降臨主日(祭) *ミサ後、記念撮影とお祝いの会を予定。	5・11			
25日	月	6:30 朝ミサ/教会の母聖マリア 記念日				
26日	火	6:30 朝ミサ/聖フィリポ・ネリ司祭 記念日				
27日	水	19:00 召命ミサ/聖アウグスティヌス・カンタベリー司祭				
28日	木	6:30 朝ミサ				
29日	金	6:30 朝ミサ/聖パウロ六世教皇				
30日	土	19:00 三位一体主日のミサ		6・7	教会	
31日	日	6:30&9:00 三位一体主日(祭)	6・7			

*6月7日 10:30～納骨堂総会(クレメンホール) 設営は掃除当番班8, 9班です。

ロザリオの祈り	毎週火曜日10:00～	5, 12, 19, 26
レジオ・マリエ	毎週水曜日13:30～	6, 13, 20, 27
聖書と教理	毎週金曜日10:00～	1, 8, 15, 22, 29